

町の財政は どうなっているのか

決算審査・各常任委員会報告

平成27年度一般会計歳入総額75億1,688万4千円、歳出総額は、65億1,518万7千円。年度末積立基金約75億。

町税収入 町民税2億9,791万5千円。固定資産税4億5,999万2千円。軽自動車税3,730万円。町たばこ税5,737万3千円。入湯税292万2千円。

戸籍住民 戸籍総合システム保守料、使用料、機器リース料として3,122万7千円。

生活環境 ごみ袋作成、ごみ収集、運搬委託料2億1,764万9千円。

電子計算費、1億484万5千円。交通安全対策費498万7千円。財産管理費、5,908万9千円。消防費・常備消防費、1億5,829万9千円。非常備消防費3,410万5千円。消防施設費は耐震性防火水槽の整備及び修繕、小型ポン

委員長 **荒木拓馬**

平成27年度一般会計歳入総額75億1,688万4千円、歳出総額は、65億1,518万7千円。年度末積立基金約75億。

付積載車1台、消防ポンプ1台、1,707万1千円です。

会計室の主なものとしては収納に係る手数料、OCR年間4万3,343件の1件当たり10円の手数料で、75万882円となっている。文化財保護費、2,088万9千円の予算で台風15号の影響で文化財にも被害があり例年よりも管理費等が増額となった。

社会体育費、三加和グラウンド照明改修工事の請負費として1,207万4千円となっている。学校教育係三加和小学校スクールバス運行委託料3台で2,041万2千円。うち県補助金712万2千円となっている。学校教育課、台風被害による西小学校屋根と庇の工事1,960万円。中央小学校底の改修で987万6千円となっている。

健康福祉課

健康福祉課は福祉係・障害福祉係・子ども家庭係・保健予防係・地域包括支援係・介護保険係の6係と神尾保育園で、0歳児から高齢者までの地域福祉施策や健康増進事業に関する事業を実施しており、特に健診に重点を置き、セット健診・選択健診・病院健診が実施され、平成27年度の受診率は約65.1パーセントと県下でも有数の受診率を推移しております。健康増進においては、健診を受けることから始まり、町民一人ひとりが自分の健康問題に気づき、主体的に健康増進に取り組む、重症化予防を図ることで、健康寿命に繋がります。ひいては医療費の削減・介護給付費の削減に繋がるものと考えます。

特別養護老人ホーム

平成27年度の実質収支につきましては2,676万4千円の赤字となっております。

委員長 **蒲池恭一**

前年度より609万7千円の赤字幅の縮小と経営改善の努力は成されておりますが、老朽化に伴う建て替えの時期も来ており、今後のあり方等に関する「検討委員会」も設置されていますので、しっかりとした議論されることを期待します。

和水町立病院

町立病院は平成25年度より地方公営企業法の全部適用に移行しました。病院の事業管理者を定め、権限委譲による経営責任の明確化と自立性の拡大や運営の機敏性、職員のコスト意識と経営参画の向上を狙い、病院改革の最中です。

しかし、体制移行に伴う職員給与及び経費等の支出が大きかったことが要因となり、平成27年度8,105万円の赤字となっておりますが、地域医療のかなめとして経営改善に向けた努力を期待します。

一般会計補正予算

平成28年
9月

定例議会
報告

319,962千円を追加!!

総額 **72億14,011千円に増額**

平成28年度第3回定例会が、9月9日から20日までの会期で開かれ、12日、13日に行われた一般質問には11名の議員が登壇し、執行部に所信を問う。10月2日に決定していた住民投票に対し、その条例の廃止について議案としてあがって来たが賛成議員は1名で否決となった。他執行部から提案された補正予算4件、報告1件、その他2件、決算10件を審査し全議案を可決した。今回の27年度の決算審査は議会の各常任委員会で行った。

主な補正項目

- ◎果樹園芸振興費 1,790万5千円
- ◎農地等災害復旧費 9,713万円
- ◎公共土木施設災害復旧費 1億8,085万円

特別会計補正予算

会計名	追加	歳入歳出予算総額
和水町介護保険事業会計	23万1千円	15億1,875万3千円
和水町特別養護老人ホーム事業会計	547万6千円	5億2,373万1千円
和水町特定地域生活排水処理事業会計	49万円	1億721万7千円

9月議会議案審議

採決結果

条 例： 1件
補正予算： 4件
そ の 他： 3件
決 算： 10件
報 告： 1件
計 19件

町長提出議案一覧

議案番号	議 案 名	審議採決の結果
議案第70号	平成28年度和水町一般会計補正予算（第4号）	原案可決
議案第71号	平成28年度和水町介護保険事業会計補正予算（第2号）	〃
議案第72号	平成28年度和水町特別養護老人ホーム事業会計補正予算（第2号）	〃
議案第73号	平成28年度和水町特定地域生活排水処理事業会計補正予算（第1号）	〃
議案第74号	工事請負契約の締結について	〃
議案第75号	損害補償の額を定めることについて	撤回
議案第76号	有明広域行政事務組合理約の一部変更について	原案可決
議案第77号	菊水区域小・中学校校舎建設事業に関する住民投票条例の廃止について	否決
認定第1号	平成27年度和水町一般会計歳入歳出決算	原案認定
認定第2号	平成27年度和水町国民健康保険事業会計歳入歳出決算	〃
認定第3号	平成27年度和水町介護保険事業会計歳入歳出決算	〃
認定第4号	平成27年度和水町特別養護老人ホーム事業会計歳入歳出決算	〃
認定第5号	平成27年度和水町簡易水道事業会計歳入歳出決算	〃
認定第6号	平成27年度和水町下水道事業会計歳入歳出決算	〃
認定第7号	平成27年度和水町特定地域生活排水処理事業会計歳入歳出決算	〃
認定第8号	平成27年度和水町春富財産区特別会計歳入歳出決算	〃
認定第9号	平成27年度和水町後期高齢者医療事業会計歳入歳出決算	〃
認定第10号	平成27年度和水町病院事業会計決算	〃
報告第4号	平成27年度決算に基づく健全化判断比率及び資金不足比率について	報告

議員提出議案一覧

そ の 他： 4件
計 4件

議案番号	議 案 名	審議採決の結果
	陳情書 大雨災害に伴う古園川河川の改修工事の件	採択
	閉会中の継続審査について（総務文教常任委員会）	原案決定
	閉会中の継続調査について（各委員会）	〃
	議員派遣について	〃

陳情等の審査結果

受付番号	受付年月日	件 名	審査結果	付託委員会
184	平成28年8月2日	陳情書 大雨災害に伴う古園川河川の改修工事の件	採 択	総務文教常任委員会
236	平成28年9月13日	菊水区域小・中学校校舎建設事業に関する住民投票に対する陳情書		配付

【継続審査分】

受付番号	受付年月日	件 名	審査結果	付託委員会
480	平成27年3月2日	合併特例債の適用期間の再延長を求めることについて（お願い）	継続審査	総務文教常任委員会

町の財政は どうなっているのか

決算審査・各常任委員会報告

建設経済常任委員会

委員長 豊後 力

農林振興課
農林水産業費の総決算額は4億7,720万4千円となり、一般会計目的別決算状況では構成比14項目の中で7番目の構成となっており、執行率は98.5%であるが、前年対比33.9%と大幅な伸びを示している。

主要事業として経営体育成支援事業や中山間地域直接支払事業等、更に、和水平部、西部県営圃場整備、多面的機能支払交付金事業に取り組んでいる。

他にも農業振興に欠かさない整備事業や支援事業の取り組みを継続しているが、更に農業生産意欲を高める施策を願う。

建設課
建設課土木費総額7億2,089万4千円増減率1.1%となり、主要事業として農業土木費補助3,789万1千円、行政区、団体で85件の実績、土木費は行政区の環境整備にとって最も重要視される事業と言える。また、道路維持費及び道路新設改良費（単独・補助）総額として4億6,443万5千円、内訳として、町道・久井原線舗装修繕工事他3件、大杉下津原線道路側溝整備工事他24件、江田、高野線改良事業、内田吹野線整備事業等を竣工している。

商工観光課に於いては決算額1億5,500万4千円増減率37.7%となった。取り組みとしてA/Zホテルの誘致による地域活性化に貢献、又、地域づくり事業に於いても積極的な行動により、確実な実績が見られる。今後も町商工会や地域の方、農業者の方々と連携を密にし、更なる飛躍を願う。

特別会計事業
簡易水道事業会計・下水道事業会計・特定地域生活排水処理事業会計、それぞれに於いて独立採算による企業形態を念頭に事業運営に、努めていくことを願う。

平成27年度歳入歳出決算額

区 分	予算現額	歳入決算額 A	歳出決算額 B	翌年度へ繰り越すべき財源 C	実質収支額 A-(B+C)	
一般会計	68億2,566万円	75億1,688万円	65億1,519万円	4,789万円	9億5,381万円	
特別会計	国民健康保険事業会計	17億6,784万円	17億4,543万円	17億3,812万円		731万円
	介護保険事業会計	15億4,387万円	16億5,234万円	14億9,992万円		1億5,242万円
	特別養護老人ホーム事業会計	4億9,438万円	5億156万円	4億7,654万円	100万円	2,402万円
	簡易水道事業会計	8,139万円	9,572万円	7,796万円		1,776万円
	下水道事業会計	9,210万円	9,688万円	8,701万円		987万円
	特定地域生活排水処理事業会計	1億259万円	1億1,515万円	9,756万円		1,759万円
	春富財産区特別会計	28万円	136万円	15万円		121万円
	後期高齢者医療事業会計	1億4,235万円	1億4,794万円	1億4,090万円		704万円
	一般会計・特別会計合計	110億5,046万円	118億7,326万円	106億3,335万円	4,889万円	11億9,103万円
	公営企業会計	和水町立病院事業会計（収益的収支）	9億7,735万円	8億8,908万円	9億7,013万円	
和水町立病院事業会計（資本的収支）			歳入 9,910万円 歳出 1億3,154万円	9,912万円 1億3,125万円		△3,212万円

※病院事業会計は消費税抜きで記載。
※千円以上を四捨五入しているため、実質収支額及び合計が合わない場合があります。



小・中学校に エアコンの設置が 必要だと思うが。

問 少子高齢化対策について。一人暮らしのお年寄りの孤立死が社会問題となっている。孤立死の防止策（生存確認）について、現在の取り組みと今後の課題は。

答（健康福祉課長）毎年、町が把握している町内の高齢者の情報を、社会福祉協議会を通して、各行政区の民生委員、児童委員の皆様へ提供し、実際の状況を調査している。また、委託している配食サービスも、毎月60人程の方が利用されている。その時に安否確認もあわせてやっている。

問 「健康福祉課長」毎年、町が把握している町内の高齢者の情報を、社会福祉協議会を通して、各行政区の民生委員、児童委員の皆様へ提供し、実際の状況を調査している。また、委託している配食サービスも、毎月60人程の方が利用されている。その時に安否確認もあわせてやっている。

問 保護者の寄附で冷風扇が4台、三加和小に導入されたとのことだが、そんなに効果は出ていないと聞いている。設計会社には、この状況について何の問題意識も感じられていないのかどうか、補償も含めてお聞きする必要があると思うが。

答（教育長）エアコンの設置は必要であろうと認識している。

問 AEDの設置状況について

答（教育長）設計業者の補償等については、検討もしていかなければならない。

問 「その他の質問」

・AEDの設置状況について

・久井原地区の悪臭問題について

・住民投票について



町長が これまでとってきた 言動の疑問と 問題点について！

問 町長の公約であった耐震改修は安く上がり、大幅な費用の削減ができるかと訴えてきたが、結局当初の町民との約束は守れなかったことについて伺う。

答（町長）よりよい環境で、よりよい校舎を子どもたちに与えてやりたいという意味から金額が膨らんだ！

問 町長はこれまで番城グラウンドは危ないと言いつつ続けたが、4月の熊本地震や7月の豪雨でも災害は起きておらず、その安全性は確実に証明されていると思うが？

答（町長）過去の埋め立ての経緯など避けるべきは避けていきたいというのが真意である。

問 行政の設計図ともいうべきまちづくり実施計画（平成27年度版）を議会へ提出しなかったことは、学校統廃合問題を隠したと言われ

答（町長）おことわりの文書を全戸に配布したい。

問 そこに書いてある記事内容は、事実と異なっており議会や議員を冒涇するもので許されない。

問 町民への誤解を解くために何か考えがあれば伺いたい。

答（町長）おことわりの文書を全戸に配布したい。



4月の熊本地震・ 6月22日の豪雨災害被害は 全く発生していない!!

問 熊本地震による学校施設の修繕工事の進捗状況は。

答（町長）早期修繕を予定していたが、業界の事情によりやや延びている。

問 熊本地震による学校施設の修繕工事の進捗状況は。

答（学校教育課長）6月臨時議会で1億5,570万円の補正予算承認を得て取り組んでいる。中央小・菊水中の体育館は吊り天井撤去は工期を一カ月程延長が必要状況。東小体育館は設計に時間を長く有し10月28日が工期となっている。給水関係は完了した。中央小3階の庇の撤去、中学校のブレース（支柱）設置工事は、学校活動時の安全確保、騒音問題があり作業が難しい為学校関係者と協議しながら進めていく。

問 遅れている理由は？

答（学校教育課長）資材、機材全般の調達に厳しい状況。

問 「番城は真砂土の為安全性の観点から問題」と以前答弁されているが、4月の地震、6月22日の梅雨前線豪雨での被害があったか。

答（建設課長）4月の地震、6月22日の豪雨から今迄災害は発生していない。

問 番城建設予定地を地質調査（ボーリング調査）結果の説明を求める。

答（学校統廃推進室長）24年度に建設予定地12カ所を調査している。緩い層が西側の一部にあるが、一定の深さを超えると風化花崗岩の地盤層に到達する為、建設に当たっては基礎杭を施工するので大丈夫な層であるという報告が上がっている。



近接型の小中一貫 やむなしと考えている。

問 住民投票の結果、耐震改修の結果が出た場合、これまで執行して来た約10億4,000万円及び、その責任問題とその処遇について伺う。

答（総務課長）その中には地域の元気臨時交付金、1億53万6千円と合併特例債5億6,370万円が充当されている。この二つについては私たちが非常に心配している。交付金については会計検査において返還は、ないものとして意見を交わして来たが全国的な目で見ると11月頃にその結果が判明する。特例債については造成地活用の方角性が決定した後に正式に総務省との協議を行うこととなる。この中には、校舎建築にかかる基本、実施設計分の1億2,340万円が含まれており、場合によっては返還もあり得ると思われるが、跡地利用の方針が決定しないとつきりしない状況である。

問 近接型の小中一貫やむなしと考えている。

答（町長）返還の可能性は残っている。この分については、いわゆる責任という言葉では片付けられないほどの責務があると思う。

問 番城グラウンドにスポーツ施設、中学校の学校統合について何か話し合いでもあっているのか。

答（教育長）具体的なものとして議題にあげ討議はしていない。

問 グラウンドは残したというようなことは言っているがまだ打ち合わせも出ていない。中学校について住民の声は多く聞かれる部分で、先々のビジョンとしてどうするのかそういうつもりで中学校であるか。

答（町長）長年学校として使われて来た中央小学校グラウンドが建屋の敷地に適していると思うので、理論が変わるかもわからないけれど。

問 番城はあぶないと言われて来たがその根拠は？

答（町長）長年学校として使われて来た中央小学校グラウンドが建屋の敷地に適していると思うので、理論が変わるかもわからないけれど。



豊後 力 議員

玉名地域医療体制づくりに 正式参画を願うが!!

玉名地域医療体制づくりについて

問 平成26年12月に玉名地域医療体制づくり、第3回検討協議会に於いて正式参加を表明しているが、和木町における重要課題は何か。

答 (町長) 住民投票条例、住民投票の実施の賛否は別とし、指針が示されるのは間違いない。政治的背景に拘りのない形で進めていく。

和水町小・中学校について

問 現在の和木町立病院の課題と問題点は。更に特別養護老人ホームとの融合合併による終末医療としての体制は如何か。

答 (町長) 安定的な医師の確保が近々の課題。

学校統廃合及び住民投票について

問 住民投票条例を議員提案として制定したが、執行部局としてどのような思いか。

答 (町長) 論点がはっきりしづらいなか又、判断の基準も取りにくいまま進むことに、困惑、ためらいもあった。

問 ここまで紛糾した学校統廃合事業に関し、議会及び執行部局も



森 潤一郎 議員

玉名地域医療体制づくり 検討協議会からの 経営統合一時撤退の真意は？

問 この2年6カ月町政の混乱を招き、住民不在の政治状況を作り出してきた責任は計り知れなく重い。この責任をどのように果たすのか伺う。

答 (町長) 自分が町の高齢化現象、人口減少の実態、医師の確保問題を考えた時大きな梓繰りの中で動くことが一番の得策と思いつくところだ。しかしその後の町民説明会、議会の全員協議会の中での議論を進めていく中で合意形成がなされていないと判断。一時撤退を決意した。

問 協議会の委員には議会代表者も2名参加している。撤退表明時の2名の議員への町長の配慮を伺う。

答 (町長) その時私の思いだけが先行し、お二人の議員さんには十分なお話、協議をしないまま表明をいたしました。この場を借りてお詫び申し上げます。

問 協議会発議の住民投票条例実施にあたってどのような結果責任を果たすつもりか伺う。

答 (町長) 実施結果については最大限の尊重をしていく。

問 町長は玉名地域医療体制づくり検討協議会からの経営統合一時

撤退を唐突に表明された。その真意を伺う。

答 (町長) わが町の高齢化現象、人口減少の実態、医師の確保問題を考えた時大きな梓繰りの中で動くことが一番の得策と思いつくところだ。しかしその後の町民説明会、議会の全員協議会の中での議論を進めていく中で合意形成がなされていないと判断。一時撤退を決意した。



池田龍之介 議員

歩車分離型の信号機設置と 電線の埋設化を 提案、要望す!!

問 和木町には、1級、2級、その他町道が342路線、町道とは

町民の生活道としての利便性、活用度合いが根底にあると認識をしているが、町の面積は98・78km²で、

山林が60%を占め、林道3路線、三加和地区に1本もないとは、町

道認定の考え方が少々間違った方向性ではないかと疑問に思う?

答 (町長) 各地域からの要望、政策上、認定する2種類がある。

お願い

県道3号線と16号線が交差する、江田四つ角交差点の道路改良について、地元説明会が先日あった。右折車線導入に伴う道路拡幅改良工事である。商店街の街路灯、広

告灯が両側にあるが、工事は片方だけなので片方は新設になると、

バランス的に悪いので出来れば両側を新設願いたい。また、歩道が

設置され電柱の移設が考えられるので、出来れば電線の埋設化を、

それにもう一つ、今年の春先に、右折車に巻き込まれる人身事故があつて

いる。歩車分離型の信号機設置をなし、スクランブル交差点

にすることによって、車を運転する人も、道を横断する人も、余裕を持って信号通り行動ができる。

是非、実現して頂く様に、強く、強く、声を挙げて頂き、県と協力の下に、警察、安全協会に働きかけて欲しいと切望をしておく。



笹淵 賢吾 議員

子どもたちの学ぶ教室に クーラー設置を。

問 異常な今年の夏の暑さで三加

和小学校児童が体調を崩し、保護者からクーラー設置の要望が出された

と聞いたが対応はどうされたのか。三加和小学校の設計は地中

熱を利用し、夏は涼しく冬は暖かいためにエアコンは必要ないとして

教育委員会は設置しなかったが、そういう考えで良いのか。

答 (教育長) 今年の夏は例年以上の猛暑日が続くエアコンの設置

されていない教室で学ぶ子どもたちにとって大変厳しい環境だった。

三加和小学校児童が体調を崩したとの情報を頂いたので学校に向向いて情報の収集と室内の温度状況を確認した。今後エアコン設置に向けて次年度以降に取り組みさせて頂ければと考えている。

答 (学校教育課長) 三加和小学

校の集熱システムのデータ資料では寒さに対しては効果があるが、

暑さに対しては思ったほど効果は出ていない。例えば、外気の1月

平均気温が5度に対し室内気温が14・6度になっており、9度ほど

の差がある。夏場において7月の室外は29・2度に対し室内が28・

9度、8月平均気温は室外が30・2度、室内が30・3度と0.1度室内のほうが高くなっている。

問 保護者の若い世代は雇用状況が安定せず、所得も向上しない状況のなか、支援策として小中学校の学校給食費の助成拡充をしてはどうか。

答 (町長) 学校給食費の助成の必要性、拡充するならば助成金額、実施時期等々の問題を含めて検討

していかなければいけない。



杉村 幸敏 議員

和水町立病院の 経営状況について 平成27年度決算 8,105万円の赤字!!

問 6月議会での町長答弁について伺う。

答 和水町独自の子育て支援制度として保育料の半額補助の請願があり、厚生常任委員会で採択され議会で全会一致で承認されているにもかかわらず、検討するとの答弁があつているが其の後どうなっているか、これは町長の公約の一つにもなっているが。

問 (町長) 保育料の半額補助の事については、財源上、今実施に踏み切るといふことは出来ない。

答 玉名地域医療体制づくりについて、町長としての責任はどの様にとられるか。また町立病院の現状について伺う。

問 町長は、独断で玉名地域医療体制づくり検討協議会11月29日正式参加、12月3日より和水町議会代表として議員2名の参加、平成28

年6月3日議会全員協議会で今迄の連携では医療体制が不透明の為、協定書案の通り統合を進めていくと説明あり、7月7日・8日住民説明会、7月12日経営統合での方針説明(町長)、7月22日玉名市長との意見交換会、7月28日町長の突然の経営統合の一時撤退表明(誰と相談したのか)、あと一回住民説明すると約束していたが、撤退の表明は検討委員会に参加している両議員には、相談すべきではなかつたか、この様な検討会撤退表明には絶対反対する。

答 (町長) 急に加入発表撤退を致した。弁解の余地もない。ただお詫び申し上げるのみだ。

問 (事務部長) 病院の経営は厳しく、平成27年度決算は8,105万円の赤字である。累積赤字4億8,400万円となっている。

答 (町長) 急に加入発表撤退を致した。弁解の余地もない。ただお詫び申し上げるのみだ。



庄山 忠文 議員

多大な災害 年内に復旧できるか。

問 今年度の集中豪雨による、道路関係、河川、農地及び農業用施設の被害状況、災害額また、災害復旧は本年度中にできるか。

答 (建設課長) 国県道については被害額が1億1,300万円程度、町道1億350万円、町河川7,730万円、農地2,692万円、40万円未満の小災害は1,365万円、農地用施設7,021万円小災害654万円になっている。今年度の災害は地震と豪雨災害の2種類に分けて、補助率は地震では100%豪雨では66.7%となつ



県道玉名八女線

問 菊水地区の小中学校事業と5つの事業を公約に掲げていたが、就任後2年6カ月経つがその思いと現実をどう思われているか、またほとんどの事業がとまっているのではないか。

答 (町長) 小中学校の事業を含め、5つの公約事業も進んでいないのが実情だ。指摘の通り胸に刺さつた思いである。ご協力をお願いしたい。

町長の政治姿勢について

ており、できるかぎり国費を充てる様業務を進めていきたい。また、災害復旧については県道玉名八女線の矢部谷峠付近の災害は大規模であり県の方針を待つ。町災害においても多大であり、年度内には無理かもしれない。



蒲池 恭一 議員

「福原秀治後援会だより」 発刊に際し、町長は本当に 知らなかつたのか!!

問 福原秀治後援会会報について、事実無根の記事が書かれていたが真意を伺う。

答 (町長) 誤解をされるような部分については断りと言つたところで、文章を用意している。

問 「福原秀治後援会だより」なので、皆さん方(町民)はどう思われますか?発刊に関して町長が知らないと思われる方がおられるか?町長は発刊に関して知らなかつたと、言われているが、全く知らなかつたのか伺う。

答 (町長) 知らない。

問 間くところによると「見た」と言う議員がいたが、聞き間違いだつたのか、町長が知らなかつたとして質問する。文面の中で誹謗中傷は無かつたのか伺う。

答 (町長) 受け止め方の問題であると思う。

問 我々は遅々として進まない菊

水区域学校建設に、合併特例債が32年度まで、過疎債が32年度までと迫つており、進まない学校建設を進めるためには、町民の皆さん方には迷惑をかけるけれども6月定例会の補正予算関係に反対してでも、我々はそのために不信任議案を提案し、我が身を削つても正しい道にいかなければいけないの思いの中で反対(補正予算関係)をし、そしてこの住民投票条例案しか進む道は無かつたこと。当日(7月12日の臨時議会)も不信任議案を準備していたにもかかわらず、「野党議員は今までの反対をあつさり取り下げました。議会解散されるとかかわない、我が身が一番、信念も何も無いということでしょう」なぜこのような文章が書けるのか?

答 (町長) 不信任議案は間違いない事実。皆さんの決心は、否定しない。

住民投票結果報告

学校統廃合事業に

住民の声反映!!

菊水区域学校統廃合事業調査特別委員会委員長 豊後 力

10月2日に住民投票が実施され即日開票の結果、耐震改修が過半数を獲得した。この住民投票条例は、町長と議会は「住民投票の結果を尊重する」と明記、これを踏まえ、学校問題は一つの区切りとなる。

当日の投票率は57.79%、投票総数5,318票(内無効票91票)、耐震改修票2,905票、新築票2,322票、当日の有権者数9,203人であった。

和水町は熊本県内市町村の中で統廃合の遅れから公立小中学校の耐震化を済ませておらず懸念されてきた。

児童生徒の保護者の方々より、今回の結果を尊重し、事業進展に期待するとともに、1日も早く子どもたちのために安全な校舎を願うとの声があがる。



菊水中央小学校



菊水中学校